

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0278
施設名	光明第五保育園
施設所在地	八王子市山田町1688-2
法人名	社会福祉法人多摩養育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

《紙を色水に浸けてみる》

<テーマの設定理由>

東京都が主催する「とうきょうすくわくプログラム」の『乳幼児期の豊かな育ちをサポートするため、主体的・共同的な探求活動を通じて幼児教育・保育の充実を図る』という目的に賛同し、本園でも取り組むにあたり、「身近なもの」から子ども達の興味、好奇心や探求心を刺激する事はなんだろうと考え、今回は「紙を色水に浸けてみる」実験に取り組みました。水分を拭くためにペーパータオルを使ったり、紙に絵を描いたり、製作によって紙を使い分けたりと、日頃何気なく使っている紙。すでにさまざまな紙の性質を何気なく使い分けていますが、意識してみることで何かの気付きに繋がると考えました。紙には様々な種類があることを改めて確かめ、それぞれ色水に浸けた時、乾いた後の変化を感じ、不思議に思ったり理由を考えたりしている姿が見られました。

2. 活動スケジュール

保育の中で、様々な紙に触れています。まずは、紙にはどのような種類があるのか、製作、日常の中の目的から考え、いくつか種類を挙げ、実物を集め、見たり触ったりしてみました。そして、色水に浸けたらどうなるかを考え、実践し、浸けた時と乾いた後の変化を見つけ、考察してみました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・紙（ティッシュペーパー、ペーパータオル、画用紙、折り紙、コピー用紙、新聞紙、和紙、梱包紙）
- ・色水（ピンク、緑）

紙にはどんな種類があるのか、日常生活の中から考えられるよう話し合いました。また、紙を色水に浸けるとどうなるのか予想しながら実践に移していきました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

8種類の紙を、ピンク色・緑色の色水に浸けるとどうなる？

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>



8種類の紙をそれぞれ触り、手触りに違いがあることに気がしました。そして、色水に浸けたら「ティッシュはやぶけるでしょ」と予想するNくん。「どの紙も浸けて乾いたら、つるつるになるんじゃない？」と予想するFちゃん。



次々と紙を浸けてみます。ティッシュペーパーは、引き上げてみると、水滴が止まりません。ペーパータオルは「硬くなった」とYちゃん。折り紙をピンクの色水に浸けるも、「色がついてない」と気付くFちゃん。しかし、「（折り紙に）緑色はついてる・・・ピンクは薄かったんじゃない」と推測。



乾いた後の紙を観察。新聞紙を見て、「色が（浸ける前と）違ってる。茶色くなっている」とFちゃん。トイレトペーパーは、変な形に固まっていた。Sちゃんは、紙を窓に当ててみていました。「少しきれいに見える」とのこと。



トイレトペーパーは「ポロポロしてる」とKくん。「（ちぎれて）小さくなった」とFちゃん。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

紙によって手触りや厚さが違うことに気付いている様子でしたが、言葉にして表現することは難しそうにしていました。色水を用意すると、予想するよりも、早く浸けてみたい気持ち強い様子でしたが、予想を言葉にしてくれる子もいました。実験後、「どれが一番お気に入り？」と聞くと、それぞれ「これ」と教えてくれました。気に入るものは子どもによって様々でしたが、特に和紙は発色が良く見えたのか、人気でした。紙によって色付きに濃淡の違いがある理由についてまで考えるのは難しかったようです。紙を水に浸けるという行為はなかなかしないことなので、とにかくやってみよう、と興味津々な様子でした。